

2025年度 教育計画

教科	芸術科	単位数	前期 1	後期 1
科目	書道 I	スクーリング(時間)	前期 4	後期 4
科目的目標		書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。 ①書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解し、書写能力の向上を図り、基礎的な技能を身につける。 ②書の美を感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫をして、書の美の味わい捉えたりすることができるようとする。 ③生涯にわたり書を愛好する心情を育み、書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
教科書	高等学校 書道 I (東京書籍701)	学習書	あり	
副教材	なし	その他教材	書道道具	

学 期	月	項 目	内 容	スクーリング				テ ス ト	レポート	
				本校	都城	小林	日南		回数	日
前 期	4	書写から書道へ	中学校書写で学習したことの確認として、漢字（楷書・行書）に調和する仮名について理解する。書道の用具・用材について理解する。漢字の成立と変遷について理解する。	20		27			第1回	21
	5	漢字の書①（楷書）	古典や臨書の意味や方法を理解し、書道用語を理解する。楷書の古典にふれ、用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解する。楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。	4	11		11			
	6	漢字の書②（行書）	行書の様々な古典を鑑賞し、その美や臨書する意義について理解する。行書の特徴や用筆、運筆、字形の取り方について理解する。行書の古典の概要を人物や時代等も理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、臨書する。	12					第2回	18
	7			1	8	8	8			
	8			9						
	9	仮名の書①（平仮名）	仮名の成立と変遷について理解する。仮名の基本的な線や平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。変体仮名や連綿について理解する。	23	22				第3回	23
後 期	10	仮名の書②（仮名古筆）	平安時代の代表的な古筆を人物と時代にも触れ、臨書する意義について理解する。古筆を鑑賞し、その美について理解する。古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形のとり方などについて学び、臨書する。	13	6	6	20			
	11	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方、文字の大きさや配列など、紙面構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。書き方の工夫によって様々な表現ができるることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうかを考える。	28					第1回	22
	12			20	19	5	5			
	1			3	2	2	16		第2回	19
	2			9						
	3			23		30			第3回	7